

令和元年度（ 社会科 ） 授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの生徒に発言させることができていない。 ○社会的事象に対する生徒の知識にばらつきがある。 ○内容の理解に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○付箋やメモを利用し、全員が自分の意見を発表する形態をとるようにする。また、班での話し合い活動も取り入れ、意見の共有化をする。 ○授業の導入時などに生徒の興味・関心が高い事象を取り上げ、生徒の興味・関心を引き出すようにする。 ○問題集や小テストを定期的実施して、知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プリントの最後に理解度を確認する項目を付け、生徒の理解度を確認しながら授業の進度を考える。 ○生徒の身近な問題を例に挙げて、誰もが興味をもって授業に取り組めるようにする。 ○問題集や小テスト、プリントは、必ず答えを集団で確認して間違いを正していく。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的な内容では時間の流れを意識することが難しい。 ○諸資料から読み取った内容を文書で表現する力が不足している生徒が多い。 ○地理的分野ではその地域の特性を身近な地域との比較から身に付けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用語だけを教えるのではなく、年表などを活用し、出来事のつながりを常に確認する。 ○資料から読み取れることを発表し合い、お互いの考えを確認していく。 ○日本全体に目を向けて、他地域との比較やつながりを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年表を利用した問題プリントを作成し、時間の流れを整理・確認する作業を行う。 ○資料から様々な内容を読み取り、表現を豊かにするような授業を組み立てる。 ○常に日本全図を掲示しながらつながりや比較を視覚的に考えさせる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史に対して苦手意識をもっている生徒が多い。 ○自己の思考や歴史的事象との関連を文章にまとめる力に課題がある。 ○学習内容と社会的事象の関連性を捉えることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな流れや、現代とのつながりを理解できるような説明を行う。 ○ワークシートにまとめる時、十分に時間を確保する。 ○授業で扱った内容に関する話題を紹介し、教科書の内容と社会的事象の関連性に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年表を活用し、歴史の流れを整理する学習を取り入れる。また、ワークシートの発問や資料を工夫する。 ○話し合い活動を取り入れ、表現を豊かにするような授業を組み立てる。 ○授業と関連する話題が載っている資料をワークシートに組み込み、学習内容を深めるようにする。